

令和6年度 かほく市立金津小学校 学校評価計画書

経営目標		取組内容	主担当	(昨年度末最終達成状況) 現 状	評価の観点	達成度判断基準		備考
1	学力の向上	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、授業改善を図る。	学習指導 (釜井)	(A:90%以上) ・教師主導ではなく、児童主体の授業を目指して学習方法を個人で選択できるようにしていく。	【努力指標】 個に応じた指導や支援を行うために、考えをもつ時間や場を設定して、学び合いにつなげることができる。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合、要因を明らかにして、重点の再確認・検討をする。	教員自己評価
		個に応じた学力の向上と学び方の習得をめざす。	学習指導 (釜井)	(A:90%以上) ・自分たちのクラスで不十分などところをめぐって設定することで、意識化を図ることができたため、次年度も継続して行っていく。	【成果指標】 5つの項目について、児童は常に意識し、一定の定着率に達している。	「あさはよしを意識して学習に取り組むことができた」と回答する児童が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、指導のあり方を検討する。	学期末児童アンケート
		1人1台端末を活用した効果的な学習に努める。	GIGA推進 (北)	(A:年間7回以上) ・今後も月1回程度の研修を行い、効果的な活用方法について共通理解していく。	【努力指標】 考えを交流する場面や学習を深める場面でICTを活用することができる。	ICT活用についての授業実践研修会を A:年間7回以上 B:年間6回以上 C:年間5回以上 D:年間4回以下	Cの場合には、取組について、検討、改善を行う。	GIGA校内研修会
				児童アンケートでは、A(90%以上) ・今後も楽しく活用できるように、全教員で活用の推進をしていく。	【満足度指標】 1人1台端末を使った授業が楽しいと感じている。	楽しいと感じている児童が A:90%以上 B:85%以上 C:80%以上 D:80%未満	Cの場合には、指導のあり方を検討する。	学期末教員・児童アンケート
カリキュラム・マネジメントを推進し、自ら考え行動する力を育成する。	教務 (瀧田)	(A:90%以上) ・3学期の実践も通して児童と教師の評価の不一致が一致するようになってきたかを引き続き見ていく。	【努力指標】 カリキュラム・マネジメントの柱「自ら考え行動する力の育成」を意識して、指導を行っている。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:80%未満	Cの場合には、取組について、検討、改善を行う。	学期末教員自己評価		

2	生徒指導の推進	ア	生徒指導 (佐竹)	(A:90%以上) ・生活目標の取り組み方に慣れてきている。学校生活の生活習慣の一部ようになっていってほしいので、継続していく。	【成果指標】 生活目標を意識し、よりよい行動ができるように取り組んでいる。	生活目標のふり返りにおいて、児童肯定的な評価をする児童が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、取組項目や方法について再検討する。	生活目標集計表
				(A:90%以上) ・規則正しい生活に対する意識の継続ができるように声掛けしていく。またメディアとの付き合い方児童に啓発していく。	【成果指標】 セルフチェックを通して、自己のよりよい生活習慣の定着に取り組んでいる。	セルフチェックカードの肯定的な評価をする児童が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満		セルフチェック集計表
		イ	生徒指導 (山口)	(A:90%以上) ・今後も継続していき、より一人一人の頑張りを児童にも保護者にも広めていけるようにしていく。	【努力指標】 よさを認める場の設定や、よさを伝えることに積極的に取り組んでいる。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、自主的・実践的態度を育成するための手立てについて、再検討、工夫を講じる。	学期末教員自己評価
				(B:80%以上) ・安心して過ごせる学校をさらに目指して、人の気持ちを考える機会をさらに設けたり、児童に素敵な姿を伝え、広めていく。	【成果指標】 児童は、自分のよさに気づいている。	「自分にはよいところがある」と回答する児童が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満		学期末児童アンケート
		ウ★	生徒指導 (山口)	(A:90%以上) ・未然防止にさらに注力し、児童の困っていることなども発信して、保護者と学校とがさらに協力できるように情報を発信していく。	【努力指標】 個別の支援シートを作成した児童を中心に、全校体制で支援を行うとともに、いじめや問題行動の未然防止に取り組んでいる。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、体制及び運営について検討する。	学期末教員自己評価
				いじめ・不登校・問題行動の早期発見に努める。事案に対しては全職員で情報共有を図るとともに、迅速にケース会議を開催し、組織的に対応する。長期の不登校に対しては、保護者も交えてケース会議を実施し、一人一人に応じた支援を継続的に行う。				
		オ	生徒指導 (山口)	(A:90%以上) ・個別に最適な学習の進め方や児童主導の授業スタイルにチャレンジしていく。	【努力指標】 学習や生活に生徒指導の視点を生かしている。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、取組について、検討、改善を行う。	学期末教員自己評価

3	情操豊かな心の育成	ア	道徳の授業を中心に、道徳教育の推進を図り、道徳性を養う。	道徳教育推進教師 (山本)	(A:90%以上) ・別業の内容を見なおし、重点目標について意識して指導できるようにしていく。 ・地域とも連携し、ゲストティーチャーを招く機会を設けていく。	【努力指標】 道徳の授業づくりを工夫する。 ア 中心発問の吟味 イ 言語活動の充実 ウ 価値の自覚化 エ 道徳掲示の蓄積	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、道徳の授業展開の再検討を図る。	学期末教員自己評価
		イ	「金津の森」を活用した自然体験活動や、講師を招いての文化的体験活動、交流活動に取り組み、豊かな感性を養う。	教務 (瀧田)	(A:90%以上) ・「金津の森活用計画」を推進し、伝統となるものは伝統化していく。 ・新たに金津の森を発信していく手立てを考え、計画を具体化していく。 ・「金津の森プロジェクト」や1時間の授業だけで完結してしまわずに、その経験から次の活動に結び付け、継続的に講師の方と連携して活動していく。	【成果指標】 「金津の森活用計画」に基づき概ね活動できている。 【努力指標】 講師等を招き、体験活動の充実に取り組んでいる。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、その要因を明らかにし、金津の森活用計画の内容について再検討する。 Cの場合には、体験活動等の取組について、検討、改善を行う。	学期末教員自己評価
4	健康と体力の向上	ア	「体力アップ1校1プラン」をもとに、体育の授業や「風っ子タイム」「のびのびタイム」を通して体力向上の目標達成に努める。	特別活動 体力づくり (北)	(A:90%以上) ・今後も教科体育と体育行事を軸にしなが、楽しみながら児童の体力を向上させることができるようにしていく。 ・今後も、風っ子タイムで運動に親しむ機会を設け、運動が楽しいと思える児童を育てていく。	【努力指標】 教科体育において、課題となる運動能力の強化を含め、体力向上に取り組んでいる。 【満足度指標】 児童は、楽しく進んで運動に取り組んでいる	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 風っ子タイムに楽しく取り組んでいる児童が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、取組について、検討、改善を行う。 Bの場合には、取組について、検討、改善を行う。	学期末教員自己評価 学期末児童アンケート 体力アップ1校1プラン実施状況
		イ	健康課題の解決のための継続的な取組を実施するとともに、家庭と連携してよりよい生活習慣の定着を図る。	保健安全 (田中)	(教員評価A:90%以上) (児童・保護者アンケート A:90%以上) ・今後も継続していく。 ・給食時の姿勢等の声掛けも継続する。 ・健康の秘訣睡眠、食事、運動、排せつの4つを年間通じて指導していく。	【努力指標】 歯科保健をはじめ健康管理等の指導の充実に取り組んでいる。 【成果指標】 児童には、健康的で規則正しい生活習慣が定着している。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満 毎月のセルフチェックの結果及び学期末、児童・保護者アンケートが A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、取組について、検討、改善を行う。	学期末教員自己評価 学期末児童及び保護者アンケート

5	家庭や地域から信頼される学校づくりの推進	各種たよりやホームページ等により、積極的に学校の情報を発信する。	教頭 (井上) 情報 (北)	(A:90%以上) ・コードモンでは、スマートフォンで見る保護者も多いと思われるため、スマートフォンでも見やすいように写真を多く入れたり、文字の大きさに配慮したりした便りを心掛けていく。 ・今後も計画的に配信や更新を行っていく。また、ホームページの更新も保護者に伝えていく。	【努力・満足度指標】 HPや学校だより等各種たよりで、学校の情報を発信している。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Bの場合には、取組について、検討、改善を行う。	学期末教員自己評価
			教頭 (井上)	肯定的な評価をする保護者が A:90%以上 B:85%以上 C:80%以上 D:80%未満		学期末保護者アンケート		
6	多忙化改善と人材育成	提案内容や取組内容の精査、会議の効率化・簡略化を図るとともに、最終退校時刻の設定を行う。(毎週水曜日の定時退校の徹底)	教頭 (井上)	(A:90%以上) ・勤務時間管理を意識した働き方を促すことで、業務改善の意識を高めるとともに、教職に対するやりがいを持てるような職場づくりを目指していく。	【成果指標】 業務改善の取組が勤務時間の改善に表れている。	肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	Cの場合には、取組について、検討、改善を行う。	学期末教員自己評価
		PDCAサイクルを意識した提案と達成状況の把握により、責任を持った業務の遂行に努める。	教頭 (井上)	(A:90%以上) ・今後も、全職員の共通理解・共通行動が図られるよう、各担当がわかりやすい提案に努めていく。PDCAについては、特に検証・改善を確実に実行し、さらによりよいものにしていく。		【努力指標】 PDCAサイクルを意識して、担当業務を進めている。		肯定的な評価をする教員が A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満